



2024年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月13日
東

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所
コード番号 6630 URL <https://www.ya-man.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330
四半期報告書提出予定日 2023年9月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第1四半期の連結業績(2023年5月1日~2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第1四半期	9,627	△17.6	1,674	△6.2	1,816	△13.7	1,142	△17.3
2023年4月期第1四半期	11,688	9.9	1,784	△39.1	2,104	△28.8	1,381	△31.7

(注) 包括利益 2024年4月期第1四半期 1,173百万円(△16.4%) 2023年4月期第1四半期 1,403百万円(△30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第1四半期	20.77	—
2023年4月期第1四半期	25.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第1四半期	32,389	26,110	80.6
2023年4月期	30,979	25,435	82.1

(参考) 自己資本 2024年4月期第1四半期 26,110百万円 2023年4月期 25,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	4.25	—	8.75	13.00
2024年4月期	—	—	—	—	—
2024年4月期(予想)	—	4.25	—	4.25	8.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年4月期期末配当金の内訳 普通配当4円25銭、設立45周年記念配当4円50銭

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	4.7	6,500	6.0	6,200	4.8	4,350	11.2	79.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、様々な不安定要素に起因した販売の進捗を鑑み、また、中長期的な企業価値向上に向けて建設的な対話を促進するため、業績予想の公表は通期のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年4月期1Q	58,348,880株	2023年4月期	58,348,880株
2024年4月期1Q	3,327,668株	2023年4月期	3,327,668株
2024年4月期1Q	55,021,212株	2023年4月期1Q	55,021,212株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2023年9月13日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが第5類に移行したことを受けて、ウィズコロナのライフスタイルの確立が進み、社会経済活動の正常化に向けた動きが活発になりました。

しかしながら、世界的な資源価格の高騰、物価高、不安定な為替の動向など、国内外における経済の先行きは不透明感を拭えないままとなっております。

このような状況の下、当社グループでは、2023年6月に新・中期経営計画「Going Global Strategy」を公表し、5か年の数値目標として掲げた「売上高700億円」の実現を念頭に、研究開発や広告宣伝などに積極的な先行投資を行いながら、通販・店販・直販・海外の各販路の最適化を図ってまいりました。

消費の傾向がモノ消費からコト消費に向かったことや、物価高に伴って高価格帯製品に対する買い控えの傾向が強まったことなど、お客様の消費行動の変化の影響を受けたほか、新製品に対する広告宣伝や直販部門でのリピート施策が投資先行となったことなどから、第1四半期連結累計期間における売上高は9,627百万円(前年同四半期比17.6%減)、経常利益は1,816百万円(前年同四半期比13.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,142百万円(前年同四半期比17.3%減)と、いずれも前年同四半期に及びませんでした。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 通販部門

通販部門では、テレビ通販会社向けの販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売等を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、地上波テレビ通販を筆頭に各販路が苦戦したため、売上高は1,104百万円(前年同四半期比17.9%減)、セグメント利益は347百万円(前年同四半期比28.1%減)となりました。

② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、家電量販店を中心に堅調だったものの、脱毛や痩身などのカテゴリを伸ばしきることができず、売上高は1,719百万円(前年同四半期比9.7%減)、セグメント利益は403百万円(前年同四半期比23.6%減)となりました。

③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、オーラルケアなどが好調でしたが、リピート商材への投資が先行したことから、売上高は2,109百万円(前年同四半期比19.1%減)、セグメント利益は736百万円(前年同四半期比40.8%減)となりました。

④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、中国国内のECは引き続き好調でしたが、過去最高だった前年同四半期には及ばず、売上高は4,648百万円(前年同四半期比20.0%減)、セグメント利益は2,025百万円(前年同四半期比11.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,409百万円増加し、32,389百万円となりました。商品及び製品の増加532百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加411百万円、原材料及び貯蔵品の増加277百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ735百万円増加し、6,278百万円となりました。持分法適用に伴う負債の増加230百万円、未払法人税等の増加191百万円、支払手形及び買掛金の増加169百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ674百万円増加し、26,110百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,142百万円及び剰余金の配当481百万円による利益剰余金の増加661百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

高水準の賃上げによる個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復など、当社グループを取り巻く経営環境は変化を続けていますが、これに適切に対応し、また、お客様のニーズにお応えする製商品をタイムリーにご提供できるよう、第2四半期以降も更に投資を強めてまいり所存です。

2024年4月期の連結業績予想につきましては、売上高45,000百万円(対前年度比4.7%増)、営業利益6,500百万円(対前年度比6.0%増)、経常利益6,200百万円(対前年度比4.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,350百万円(対前年度比11.2%増)としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,146,142	16,077,500
受取手形、売掛金及び契約資産	4,935,153	5,346,190
商品及び製品	4,018,266	4,551,228
仕掛品	8,030	8,190
原材料及び貯蔵品	1,106,204	1,384,017
未収入金	936,297	918,660
未収還付法人税等	1,291	270
その他	1,415,310	1,637,565
流動資産合計	28,566,696	29,923,624
固定資産		
有形固定資産	543,594	588,718
無形固定資産	590,776	616,604
投資その他の資産		
投資有価証券	300,000	300,000
関係会社株式	77,981	74,820
その他	900,477	885,649
投資その他の資産合計	1,278,459	1,260,470
固定資産合計	2,412,829	2,465,793
資産合計	30,979,525	32,389,417
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,045	1,690,060
1年内返済予定の長期借入金	624,000	624,000
未払金	1,421,382	1,443,786
未払法人税等	494,696	685,929
賞与引当金	112,565	63,750
その他	508,062	837,131
流動負債合計	4,681,752	5,344,658
固定負債		
長期借入金	706,000	550,000
持分法適用に伴う負債	143,326	373,617
その他	12,500	10,402
固定負債合計	861,827	934,019
負債合計	5,543,580	6,278,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,432,431	1,432,431
利益剰余金	25,004,092	25,665,527
自己株式	△2,887,118	△2,887,118
株主資本合計	25,363,201	26,024,636
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	72,743	86,102
その他の包括利益累計額合計	72,743	86,102
純資産合計	25,435,945	26,110,738
負債純資産合計	30,979,525	32,389,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日)
売上高	11,688,001	9,627,877
売上原価	4,532,558	3,590,265
売上総利益	7,155,443	6,037,612
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,356,461	2,154,880
貸倒引当金繰入額	△136	—
給料及び手当	357,282	366,318
賞与引当金繰入額	42,167	63,750
減価償却費	56,982	44,478
研究開発費	129,790	223,639
その他	1,428,780	1,510,174
販売費及び一般管理費合計	5,371,328	4,363,242
営業利益	1,784,115	1,674,369
営業外収益		
受取利息	142	91
受取配当金	10,781	12,000
為替差益	460,826	382,367
その他	677	747
営業外収益合計	472,427	395,206
営業外費用		
支払利息	5,550	5,499
支払保証料	315	—
売上債権売却損	68	903
持分法による投資損失	146,036	246,069
その他	489	559
営業外費用合計	152,460	253,031
経常利益	2,104,081	1,816,543
特別損失		
固定資産除却損	—	16,270
特別損失合計	—	16,270
税金等調整前四半期純利益	2,104,081	1,800,272
法人税等	722,745	657,402
四半期純利益	1,381,335	1,142,870
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,381,335	1,142,870

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	1,381,335	1,142,870
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,227	25,477
持分法適用会社に対する持分相当額	8,892	5,507
その他の包括利益合計	22,120	30,984
四半期包括利益	1,403,456	1,173,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,403,456	1,173,855
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	1,345,434	1,904,502	2,608,379	5,809,586	11,667,903	20,098	11,688,001	—	11,688,001
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,345,434	1,904,502	2,608,379	5,809,586	11,667,903	20,098	11,688,001	—	11,688,001
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,345,434	1,904,502	2,608,379	5,809,586	11,667,903	20,098	11,688,001	—	11,688,001
セグメント利益	483,709	528,365	1,243,714	2,290,214	4,546,003	14,147	4,560,151	△2,776,036	1,784,115

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△2,776,036千円には、セグメント間取引消去7,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,763,251千円、未実現利益の消去△20,584千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	1,104,550	1,719,019	2,109,372	4,648,028	9,580,970	46,906	9,627,877	—	9,627,877
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,104,550	1,719,019	2,109,372	4,648,028	9,580,970	46,906	9,627,877	—	9,627,877
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,104,550	1,719,019	2,109,372	4,648,028	9,580,970	46,906	9,627,877	—	9,627,877
セグメント利益	347,673	403,787	736,137	2,025,644	3,513,243	32,052	3,545,295	△1,870,926	1,674,369

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△1,870,926千円には、セグメント間取引消去7,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,880,993千円、未実現利益の消去2,267千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。